

## 気候情報

### 2022年7月の日本の天候

- 気温は全国的に高く、特に北日本ではかなり高かった
- 降水量は北日本日本海側でかなり少なかった一方、北・東・西日本太平洋側で多かった
- 日照時間は北・東日本日本海側で多かった

#### 7月の天気概況

北・東日本日本海側では、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。一方、北日本太平洋側では、中旬から下旬の前半を中心に低気圧や前線の影響を受け、大雨となった所もあった。東日本太平洋側と西日本では、上旬の中頃から中旬にかけて台風第4号などの影響で曇りや雨の日が多く、西日本では線状降水帯が発生した日があり、大雨となった所もあった。沖縄・奄美では、上旬のはじめに台風第4号、下旬の終わりに台風第5号や台風第6号の影響を受けたが、沖縄地方を中心に高気圧に覆われ晴れた日が多かった。北・東・西日本では上旬を中心に、沖縄・奄美では中旬以降に暖かい空気に覆われた。

**上旬：**北日本と東・西日本日本海側は、高気圧に覆われ晴れた日が多かった。東・西日本太平洋側は、旬の中頃から台風第4号や低気圧、気圧の谷の影響で曇りや雨の日があった。また、5日は高知県で線状降水帯が発生するなど、旬の中頃は西日本太平洋側を中心に大雨となった。沖縄・奄美では、旬のはじめに台風第4号の影響を受けたが、その後は太平洋高気圧に覆われた。北・東・西日本では、暖かい空気に覆われ、旬のはじめは東・西日本を中心に広い範囲で猛暑日となり、1日はアメダスを含む6地点で40℃以上の日最高気温を観測した。

旬平均気温は、北・東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美では平年並だった。

旬降水量は、北日本日本海側でかなり少なく、北日本太平洋側と東・西日本日本海側で少なかった。一方、西日本太平洋側で多かった。東日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、北・東日本日本海側でかなり多く、北・西日本太平洋側と西日本日本海側で多かった。東日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

**中旬：**北・東・西日本と奄美地方では、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。暖かく湿った空気が流れ込んで大気の状態が不安定となる日があり、各地で雷雨や大雨となり、猛烈な雨が降った所もあった。17日は埼玉県で突風が、18日と19日は長崎県、山口県、福岡県、佐賀県、大分県で線状降水帯が発生した。沖縄地方は、太平洋高気圧に覆われやすく晴れの日が続いた。

旬平均気温は、沖縄・奄美でかなり高く、北日本で高かった。東・西日本では平年並だった。

旬降水量は、北・東日本太平洋側でかなり多く、北・東・西日本日本海側と西日本太平洋側で多かった。一方、沖縄・奄美で少なかった。

旬間日照時間は、北・西日本日本海側と北・東・西日本太平洋側で少なかった。東日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

**下旬：**北日本では、旬の後半は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。東北北部は26日頃に梅雨明けしたとみられる。東・西日本では、旬のはじめは湿った空気が流れ込んで大気の状態が不安定となり雷雨や大雨となった所があった。沖縄・奄美では、旬の終わりに台風第5号や台風第6号の影響を受けてまとまった雨が降った。

旬平均気温は、東日本と沖縄・奄美で高かった。北・西日本では平年並だった。

旬降水量は、北日本日本海側でかなり少なく、西日本日本海側で少なかった。沖縄・奄美で多かった。東日本日本海側と北・東・西日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本日本海側と北・東日本太平洋側で多かった。東・西日本日本海側、西日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

#### 7月の気候統計

**月平均気温：**北日本でかなり高く、東・西日本と沖縄・奄美で高かった。

**月降水量：**北日本日本海側でかなり少なかった。一方、北・東・西日本太平洋側で多かった。東・西日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

**月間日照時間：**北・東日本日本海側で多かった。西日本日本海側、北・東・西日本太平洋側、沖縄・奄美では平年並だった。

(気象庁大気海洋部観測整備計画課)

—— 7月の記録 (1位更新のみ、タイ記録含む) ——

- ・月平均気温の高い方から (℃)  
久米島 (沖縄県) 29.9 など 8 地点
- ・月降水量の多い方から (mm)  
浜松 (静岡県) 721

#### 2022年7月の平年差 (比) 図

